

令和2年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～					
	施策	02 人権尊重 一人権意識の向上を目指しますー					
重点プロジェクト							
主管課	市民生活部 市民総合相談室					評価責任者	福島 浩之
						評価日	令和3年7月12日
関連課	協働推進課、学校教育課、社会教育課						
目標	差別の無い基本的人権が尊重された平和な地域社会や男女共同参画社会の実現に向け、市民の人権意識の醸成を促進します。また、外国籍市民が暮らしやすい地域社会づくりを進め、地域における国際交流を推進します。						
施策目標の実現に向けた取組	<p>(1) 人権を尊重した社会づくりの推進 ○市民・行政・関係機関が連携し、同和問題をはじめとする人権問題に関する普及啓発活動を行います。</p> <p>(2) 平和な地域社会づくりの推進 ○戦争の惨禍を後世に伝え、世界平和について学べる機会を提供します。</p> <p>(3) 男女共同参画の推進 ○政策・方針の決定過程において女性の参画を推進し、社会参画の機会の拡大を図ります。</p> <p>(4) 多文化共生（国際交流）の推進 ○外国籍市民の生活相談など外国籍市民が暮らしやすい生活環境をつくります。 ○多言語による情報提供や外国籍市民との交流の機会の提供などにより、国際交流を推進します。</p>						

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策 目 標	指標 1	指標名	人権問題に関する講演会等参加者の関心度、理解度					
		説明	対象：人権講演会、人権問題市民・企業講演会					
		単位	%					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
		実績値	89.40	88.00	-			
	指標 2	指標名	審議会等女性委員の割合					
		説明	「目標値40%以上～60%以下」					
		単位	%					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	40%以上	40%以上	40%以上	40%以上	40%以上	40%以上
		実績値	33.40	31.40	33.50			
	指標 3	指標名						
		説明						
		単位						
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値						
		実績値						
	指標 4	指標名						
		説明						
単位								
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							
指標 5	指標名							
	説明							
	単位							
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	4,827	4,838	3,871	6,444		
	人件費	37,245	31,118	32,231	31,827		
収入	特定財源	943	343	891	1,091		
	一般財源	41,129	35,613	35,211	37,180		

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	人権を尊重した社会づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 人権の花運動 人権標語入りマスクの配付 	新型コロナウイルス感染拡大により、社会教育課、人権教育推進協議会と連携実施する人権講演会や、市民、企業、職員向け啓発事業、人権擁護委員との啓発事業等が中止となったが、市内小学校での人権の花運動及び成人式での人権標語入りマスク配布を実施し啓発を行った。	人権推進事業 人権・平和教育推進事業
取組②	平和推進事業の開催	<ul style="list-style-type: none"> 平和祈念展（協働推進課、社会教育課の協働事業） 	平和推進事業の実施にあたり、市民によって構成される「ふじみ野市平和推進事業実行委員会」の協力のもと、平和祈念展を開催し、戦争の悲惨さ、平和の大切さについて市民とともに考えることで、市民の平和に対する意識の醸成が図られた。	平和推進事業 人権・平和教育推進事業
取組③	男女共同参画の推進	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画週間にあわせた図書展示 女性に対する暴力をなくす運動週間パネル展 男女共同参画推進審議会開催（書面） 男女共同参画のまちづくり委託事業 交流ライブラリーの活用 男女共同参画情報誌「燦」発行 	市民団体と連携した啓発事業や上福岡、大井両図書館での図書展示、情報誌「燦」の発行など広く市民に啓発を行い、また男女共同参画推進審議会（書面）を開催し男女共同参画基本計画の進捗状況等について確認した。	男女共同参画推進事業
取組④	多言語による外国籍市民の支援	<ul style="list-style-type: none"> 外国籍市民生活相談窓口設置 外国語版生活ガイドブックの作成 外国語版生活ガイドホームページ設置 	日本語を母国語としない外国籍市民が増加するなかで、多言語による相談窓口等の開設は不可欠となっている。外国籍市民の支援を行っている市内NPOへ委託し、多言語による生活情報の提供や生活相談が出来る環境を整えることで、多文化共生のまちづくりを進めた。	国際化推進事業
取組⑤				

5. 評価

評価	
指標の達成状況	新型コロナウイルス感染拡大により中止となった事業も多いが、全体的に施策目標の実現に向けた取り組みが行われている。 新型コロナウイルス感染拡大防止を前提としながら、人権や平和意識を高めるための教育・啓発が、職員や市民一人ひとりに対して行われている。 審議会等女性委員の割合については目標値を下回っているが、全庁の理解や協力のほか、推薦団体等による理解なくしては達成できないことから、今後も目標達成のための啓発活動を進めていく必要がある。
おおむね順調	
行政資源の活用	
適切	
取組の有効性	
有効	
施策の効果	
効果が得られている	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		国際化推進事業	前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～		
	施策	02 人権尊重 一人権意識の向上を目指しますー		
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 10コミュニティ活動促進費		
所管部課		市民活動推進部 協働推進課	評価責任者	村田 頼信
事務事業期間		平成10年度～	評価日	令和3年4月1日
個別計画 根拠法令・条例等				
事務事業の内容	事務事業の目的	外国籍市民が暮らしやすい生活環境をつくとともに、国際感覚豊かな市民の育成に努める。		
	事務事業の経緯	上記の目的を達成するため、旧上福岡市及び旧大井町において事業を実施しており、平成17年両市町の合併以後も事業を継続し、現在に至っている。		
	事務事業の概要	ふじみの国際交流センターと連携しながら、増加する外国籍市民に対して多言語による生活情報提供や相談等を実施する。 県事業に協力し、市民に国際交流の場を提供する。		
	令和2年度の主な取組	①外国籍市民生活相談の実施（週5日） 対応時間を拡充し、週5日中3日（火・水・木曜日）は午前10時から午後4時まで相談可能とした。 ②外国語版生活ガイドホームページの更新（英語・中国語・韓国語・タガログ語・ポルトガル語） ③外国語版生活ガイドブックの作成 従来の6か国語（英語・中国語・タガログ語・ポルトガル語・韓国語・ベトナム語）にやさしい日本語を加え、7か国語に対応した。 ④ワンナイトステイ事業（県事業）への協力 新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.35	0.30	0.20
		人件費	2,793	2,418	1,612
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		2,793	2,418	1,612	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	4	4	3	
	委託料	1,804	2,497	2,633	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費※	69	65	165	
支出合計		4,671	4,983	4,413	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	748	748
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		4,671	4,235	3,665	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		41	36	32	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	ワンナイトステイ事業への協力世帯数		
	説明	ワンナイトステイ事業への協力世帯数を設定し、活動指標とする。 ※令和2年度については登録世帯はあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、協力希望者及び実施回数の減少が見込まれるため、令和3年度の目標値を見直し、10から5に変更する。		
活動	単位	世帯		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	10	10	5
	実績値	3	2	
指標 2	指標名	外国籍市民の生活相談件数		
	説明	日本語を母語としない市民へ情報提供したり、日常生活の困りごとを相談する場として有効活用されているかを測るため、相談件数を成果指標とする。		
成果	単位	件		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	395	300	300
	実績値	217	293	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	【事業内容】
	<p>(1) 外国籍市民生活相談窓口開設業務 ふじみの国際交流センターにおいて週5日 (月・金は午後1時から午後4時まで、火・水・木は午前10時から午後4時まで) 多言語（英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語・フィリピン語等）による生活相談</p> <p>(2) 外国語版生活ガイドホームページ維持管理業務 市のホームページとリンクして、ふじみ野市及び近隣市町の生活情報をインターネットを活用しながら、6か国語（日本語・英語・中国語・韓国語・タガログ語・ポルトガル語）で提供</p> <p>(3) 外国語版生活ガイドブック更新・作成業務 生活全般にわたるガイドブックの内容を年1回更新 7か国語（更新：英語・中国語・韓国語・タガログ語・ポルトガル語・ベトナム語 新規作成：やさしい日本語）に翻訳・製本し、市内転入者等に配付</p> <p>(4) ワンナイトステイ事業（埼玉県） 国際交流基金日本語国際センターの研修生（世界各国で日本語を教えている外国人教師）に1泊2日で自宅に宿泊していただき、日本語や日本の文化などを学んでもらう国際交流事業※県主催</p> <p>(5) 筆耕翻訳業務 窓口における申請書等を外国籍市民向けに対応するため、ふじみの国際交流センターに翻訳依頼</p> <p>(6) 2市1町国際化推進会議 ふじみの国際交流センターと、センターに共同で業務委託を行っている富士見市・三芳町と国際化推進に関する会議を開催</p> <p>（補足） 日本語を母国語としない外国籍市民が増加する中で、多言語による相談窓口の開設等は必要不可欠である。しかし、職員による多言語での対応には限界があるため、外国籍市民の支援活動を行っているNPO法人と連携して展開することで、外国籍市民が安心して暮らすためのまちづくりを推進している。</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
拡充	<p>【拡充内容】 外国語版生活ガイドブック更新業務 令和3年度から、生活ガイドブックで取り扱う言語に「ネパール語」を追加する。</p> <p>【理由】 令和3年1月1日現在、市内在住の外国籍市民のうち、上位5か国は、中国（972人）、フィリピン（596人）、ベトナム（474人）、ネパール（260人）、韓国（190人）となっており、また、ネパール人の大半がネパール語以外の言語が分からない傾向にある。その中、ネパール語は生活ガイドブック対応言語に含まれていないため、生活に必要な情報を得る手段を増やし、より暮らしやすい環境を整えるため、対応言語を増やすものである。</p>
中長期的方向性	
拡充	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		平和推進事業		前年度の方向性	
				継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～			
	施策	02 人権尊重 一人権意識の向上を目指しますー			
予算費目 一般会計 02総務費 01総務管理費 10コミュニティ活動促進費					
所管部課		市民活動推進部 協働推進課		評価責任者	村田 頼信
事務事業期間		昭和60年度～		評価日	令和3年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等 ふじみ野市平和都市宣言					
事務事業の内容	事務事業の目的	戦争の悲惨さ、平和の大切さを市民とともに発信し、誰もが安全で安心な生活を営むことができる平和な世界の実現を目指すことを目的とする。			
	事務事業の経緯	旧上福岡市及び旧大井町では、上福岡市非核平和都市宣言（昭和60年制定）、大井町緑と平和の都市宣言（昭和62年制定）が制定され、それ以降、両市町において継続的に事業が実施された。平成22年10月1日に「ふじみ野市平和都市宣言」を制定したことを受けて事業が復活し、現在に至っている。			
	事務事業の概要	実行委員会形式により市民の意見を反映しながら、市民の平和意識を高めるための講演会やパネル展示等の事業を実施し、平和の大切さを後世の市民へ伝えていく。 （平成23年度より「平和教育」を所管する社会教育課と共同実施）			
	令和2年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> 市民参加による平和推進事業の実施 ふじみ野市平和推進事業実行委員会において「令和2年度ふじみ野市平和祈念展」の開催内容を企画していただいた。また、同委員会の運営の下、令和2年9月18日から10月2日まで巡回展示として、長崎原爆資料館所蔵写真パネル、ふじみ野市戦争資料の展示及び及び市内戦争体験者の語り映像の上映を実施した。 さらに、平和祈念展の企画の中で、平和を祈った折り鶴の募集として市内公共施設21カ所、各小学校及び展示会場に折り鶴作成ブースを設けた。その後、集まった市民からの折り鶴40,484羽を繋げ、千羽鶴40束を広島と長崎に届けた。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.35	0.20	0.35
		人件費	2,793	1,612	2,820
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		2,793	1,612	2,820	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	52	41	43	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	2	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	5	15	19		
支出合計		2,849	1,667	2,884	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		2,849	1,667	2,884	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		25	14	25	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	パネル展示会の延べ日数		
	説明	市民の目に触れる機会を一日でも多く設け、平和について考える時間をつくる。		
活動	単位	日		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	10	18	18
	実績値	18	13	
指標 2	指標名	講演会・映画会の来場者数		
	説明	市民の平和に対する関心の高さを図る目安として、講演会・映画会の来場者数を指標とする。 ※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により巡回展示となったため、展示会の来場者数を実績値とした。		
成果	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	160	160	160
	実績値	99	256	
指標 3	指標名	講演会等の市民満足度		
	説明	講演会等が平和意識の高揚のために有効であったかを測るため、成果指標とする。 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により巡回展示となったため、例年同様のアンケートは未実施となった。		
成果	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	87	87	88
	実績値	95	0	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	【実施内容】 「令和2年度ふじみ野市平和祈念展」の開催 目 的：平成22年10月の「ふじみ野市平和都市宣言」を受けて、市民の願いである恒久平和の実現に向けて、市民との協働により様々な事業に取り組み、平和の大切さを後世に伝えるとともに、市民の平和意識を高めることを目的とする。 実施体制：平和推進事業実行委員会（構成員：市民5人）における企画・運営 展示場所・期間：①大井中央公民館展示スペース / 令和2年9月18日～9月26日（月曜日は休館） ②ふじみ野市役所1階ギャラリー / 令和2年9月28日～10月2日 展示内容：①長崎原爆資料館所蔵の長崎写真パネル（約30点）の展示 ②ふじみ野市戦争資料の展示 ③市内戦争体験者の語り映像（約18分間）の上映 ④千羽鶴を広島・長崎に届けよう 市民から平和を祈った折り鶴を募集し、千羽鶴にして広島と長崎に届けました。 募集期間：7月下旬～9月15日 ブース設置場所：市内公共施設21カ所及び各小学校 展示期間中は展示会場にも設置 集まった折り鶴の数：40束（40,484羽）
	【効果】 平和推進事業の実施に当たり市民に企画・運営等に参加・協力していただいたことで、より市民の平和に対する意識の高揚が図られ、恒久平和の実現に向けた市民活動の推進力が高まった。 また、戦後75年という節目の年、折り鶴を通してより多くの市民参加が得られ、幅広い世代の平和への意識が一層高まった。

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	平和推進事業については、多くの市民の理解と協力により少しずつ浸透しつつあるが、恒久平和の実現は一朝一夕に出来るものではない。一人でも多くの方に平和への関心を高め、平和の尊さを認識していただくため、今後においても継続的な取組が必要である。
中長期的方向性	
継続	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		人権推進事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～			
	施策	02 人権尊重 一人権意識の向上を目指します			
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 14人権政策推進費			
所管部課		市民生活部 市民総合相談室		評価責任者	今井 等
事務事業期間		平成17年度～		評価日	令和3年7月12日
個別計画 根拠法令・条例等		人権教育及び人権啓発の推進に関する法律、人権擁護委員法、部落差別の解消の推進に関する法律			
事務事業の内容	事務事業の目的	人権の世紀と言われる21世紀を差別や偏見のない心の通い合う明るい社会にするため、人権問題に対する教育・啓発を推進する。同和問題、女性、子ども、高齢者、障がい者、外国人などの人権問題について市民一人ひとりが理解を深め、互いの人権を尊重する地域社会をつくることを目的とする。			
	事務事業の経緯	日本国憲法の基本理念の一つとして基本的人権の尊重が規定されている。国においては、人権教育及び人権啓発の推進に関する法律を制定し、人権侵害や人権擁護に対応するため、人権教育・啓発に関する施策を推進している。市においても人権擁護委員の協力を得つつ、市民・企業・職員に対して人権推進事業を実施している。			
	事務事業の概要	同和問題の早期解決と様々な人権問題に対する意識啓発及び関係各課等との総合調整。同和問題をはじめとする人権問題解決のための民間運動団体や、他自治体との連携及び人権問題研修会や講演会の開催。 人権擁護委員協議会及び人権擁護委員の活動支援。			
	令和2年度の主な取組	庁内、市内企業等への意識啓発事業の実施 民間運動団体、他自治体との連携 人権擁護委員の活動支援			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.40	1.30	1.50
		人件費	11,170	10,475	12,086
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		11,170	10,475	12,086	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	351	351	403	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	4	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	435	420	456	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	292	47	347		
支出合計		12,248	11,293	13,296	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	343	143	343
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		11,905	11,150	12,953	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		104	96	113	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	人権問題市民・企業講演会参加者数		
	説明	市民・企業などを対象に身近な人権問題を取り上げ、より多くの参加が得られるように工夫することで、更なる人権意識の向上を目指すための指標		
活動	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	60	60	60
	実績値	75	0	
指標 2	指標名	人権・同和問題職員研修会参加者数		
	説明	市職員としての更なる人権意識の向上を目指し啓発・教育を推進するための指標		
活動	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	60	60	60
	実績値	55	0	
指標 3	指標名	人権問題に関する講演会等参加者の関心度、理解度アンケート（市民総合相談室事業分）		
	説明	講座等を通して人権問題についての関心や理解が深まったと思う人の割合。人権意識が高められたかを把握するための指標 ※人権推進事業の指標であるため、人権問題市民・企業講演会及び人権・同和問題職員研修会の理解度の実績値とし、社会教育課の人権講演会は対象外とし、将来構想の指標とは異なる。		
成果	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	80	80	80
	実績値	88	0	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>※令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、ほとんどの事業が中止となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎人権・同和問題職員研修会⇒中止 ◎人権問題市民・企業講演会⇒中止 ※当初は指定管理者を対象として開催予定であったが、緊急事態宣言により中止となった。 例年通り市内企業等へは人権に関する啓発冊子等は送付した。 ◎人権講演会（社会教育課、人権教育推進協議会と連携して実施）⇒中止 ◎人権擁護委員の活動 ※人権擁護委員の活動は法務局から原則中止の通達がきている。 <ul style="list-style-type: none"> ・人権の花運動⇒実施（143,000円＝人権啓発活動人権の花運動委託金活用） ・人権啓発品の配布 年4回⇒中止 （人権擁護委員の日・おい祭り・七夕まつり・人権週間） ・中学生人権作文コンテスト審査⇒中止 ・人権教室⇒学校からの開催要望なし ・人権を考えるつどい（川越人権擁護委員協議会入間東部部会事業）⇒中止 ◎入間郡市同和对策協議会の活動 <ul style="list-style-type: none"> ・人権標語の募集⇒中止 ・人権啓発品の作成⇒中止 ・各種研修会、研究会の開催等⇒中止 ・入間郡市人権フェスティバルの開催⇒中止
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により、ほとんどの事業が中止となってしまった。人権擁護委員においては、法務局からの通達により原則活動中止となり、人権相談も中止となった。令和3年度は、基本的には通常通り事業の準備を進めるが、感染拡大防止を念頭におきながら、工夫をした啓発をしていく必要があると考えている。
中長期的方向性	
継続	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		男女共同参画推進事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～			
	施策	02 人権尊重 一人権意識の向上を目指しますー			
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 14人権政策推進費			
所管部課		市民生活部 市民総合相談室		評価責任者	今井 等
事務事業期間		平成20年度～		評価日	令和3年7月12日
個別計画 根拠法令・条例等		男女共同参画社会基本法、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律、ふじみ野市男女共同参画推進条例、ふじみ野市男女共同参画推進条例施行規則、ふじみ野市男女共同参画基本計画			
事務事業の内容	事務事業の目的	男女共同参画社会を実現するため、ふじみ野市男女共同参画基本計画に基づき進行管理を行い、男女共同参画意識の啓発及び市内の男女共同参画施策の推進を図る。			
	事務事業の経緯	平成20年度～29年度までの第1次男女共同参画基本計画を策定。 平成27年10月1日に市男女共同参画推進条例を施行。 平成30年度～令和12年度までの第2次男女共同参画基本計画（平成30～令和5年度前期）を策定。 男女共同参画意識の啓発及び市内の男女共同参画施策の推進を進めている。			
	事務事業の概要	男女共同参画推進のために基本計画に基づき以下の具体的施策を展開する。 ①男女共同参画推進状況に関する進行管理 ②男女共同参画のまちづくり委託事業 ③男女共同参画職員研修 ④男女共同参画週間等における啓発活動 ⑤ドメスティック・バイオレンス対策市内連絡会議の進行管理と連絡調整			
	令和2年度の主な取組	男女共同参画推進審議会会議、男女共同参画推進会議 男女共同参画のまちづくり委託事業 男女共同参画週間・女性に対する暴力をなくす運動週間事業 パネル展と図書展示 男女共同参画情報誌『燦』の発行			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.90	1.20	1.10
		人件費	7,181	9,669	8,863
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		7,181	9,669	8,863	
事業費	報酬※	37	45	175	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	20	26	45	
	委託料	292	75	300	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	17	8	92		
支出合計		7,547	9,823	9,475	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		7,547	9,823	9,475	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		66	85	83	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	ふじみ野市男女共同参画のまちづくり委託事業の参加者数		
	説明	市民団体の活動を支援し、男女共同参画社会を推進するための委託事業を実施。（※新型コロナウイルス感染症拡大により、公募は行わず前年度実績のある2団体に意向調査を行ったうえで、1団体に1事業を委託し実施）		
活動	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	200	200	200
	実績値	150	55	
指標 2	指標名	審議会等女性委員の参画割合		
	説明	ふじみ野市第2次男女共同参画基本計画策定時の埼玉県的女性登用率目標値を市の数値目標に掲げ取組を進めている。※目標値40%以上～60%以下。システム上数字以外入力不可なので、40%と記載。		
成果	単位	%		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	40.00	40.00	40.00
	実績値	31.40	33.50	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<ul style="list-style-type: none"> ○男女共同参画推進会議（庁内会議）を開催 （※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面開催） ○男女共同参画推進審議会（外部委員）を開催 （※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面開催） ○ドメスティック・バイオレンス対策庁内連絡会議の実施 （※新型コロナウイルス感染症拡大により、中止） ○男女共同参画週間事業におけるパネル展と図書展示の実施 （※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、パネル展は中止） ○男女共同参画のまちづくり委託事業 （※新型コロナウイルス感染症拡大により、公募は行わず前年度実績のある2団体に意向調査を行ったうえで、1団体に1事業を委託し実施） ○男女共同参画情報誌『燦』の発行 ○男女共同参画職員研修 （※新型コロナウイルス感染症拡大により、中止） ○女性に対する暴力をなくす運動週間におけるパネル展と図書展示の実施 ○申請書及び証明書等の必要のない性別記入欄を削除 <p>男女共同参画について、市職員並びに市民一人ひとりが理解を深め、男女共同参画社会を実現することを目的として上記事業を実施した。</p>
--------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	男女共同参画基本計画に沿った事業展開ができるよう、必要に応じて審議会や苦情処理委員の意見等を聴くなどのチェック機能を活用していく。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施方法を工夫し、状況の変化に注意しながら進めていく。
中長期的方向性	
継続	

令和2年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		人権・平和教育推進事業		前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	01 暮らしと地域コミュニティ ～人がつながるまち～			
	施策	02 人権尊重 一人権意識の向上を目指しますー			
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 01社会教育総務費			
所管部課		教育部 社会教育課		評価責任者	永倉秀雄
事務事業期間		平成17年度～		評価日	令和3年4月1日
個別計画 根拠法令・条例等					
事務事業の内容	事務事業の目的	人権問題の講座や研修会を開催し、市民の人権意識の高揚を図る。 憲法、教育基本法に基づき平和を希求し、平和を主体的に創造する市民意識の高揚を図る。 人権や平和の大切さを市民とともに発信し、誰もが安全で安心な生活を営むことができる世界の実現を目指す。			
	事務事業の経緯	平成17年度以降は平和をテーマとした映画会を開催。 平成22年10月1日に「ふじみ野市平和都市宣言」が制定され、平成23年度から協働推進課と共催で平和事業を開催。平成25年度から市民の平和に対する意識の高揚を目指す為、実行委員会を募集し企画運営を行っている。（講演会、DVD上映、パネル展示）			
	事務事業の概要	同和問題をはじめ、子どもの貧困、LGBTなど、社会情勢の変化により新たな人権課題が出現するなど、人権に対し正しい理解と認識を深める取組が必要であり、各種講座や講演会、映画会等の人権啓発事業を実施している。 また、戦争の悲惨さや尊い犠牲があったことを長く後世に語り継ぎいでいく為、市民との協働による平和をテーマにしたフェスティバルを開催し、恒久平和のためのまちづくりに努めている。			
	令和2年度の主な取組	1 人権事業 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ふじみ野市人権教育推進協議会に対する委託は行わず、全ての事業を中止した。 2 平和事業 実行委員会形式による「令和2年度 ふじみ野市 平和祈念展」を協働推進課と共催で実施した。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.90	1.00	0.80
		人件費	7,181	8,057	6,446
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		7,181	8,057	6,446	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	149	198	251	
	委託料	600	0	600	
	使用料及び賃借料	54	0	136	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	46	46	104	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	612	34	666		
支出合計		8,641	8,335	8,203	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		8,641	8,335	8,203	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		76	72	72	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	人権教育推進協議会主催事業（公演劇・映画会）参加者		
	説明	講座の開設に係る目標達成は受講者の理解度をもって測ることが妥当であるが、把握困難であるため、受講者数をもって活動成果とした。		
成果	単位	人		
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値	1,100	1,100	1,100
	実績値	1,096	0	
指標 2	指標名			
	説明			
成果	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
成果	単位			
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	人権教育の内容
	ふじみ野市教育行政重点施策に「人権教育の推進」を位置付け、暮らしの中に人権尊重の精神と民主主義を確立するため、様々な人権問題に関する正しい認識と理解を深め、分かりやすい啓発活動を通し、あらゆる差別や偏見のない地域社会を目指している。
	人権事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からふじみ野市人権教育推進協議会への委託を行わず、全ての事業を中止した。 今後も、研修会や講演内容を検討し、参加者を増やす努力を行い、人権啓発に努めていく。
	平和事業については、ふじみ野市〈協働推進課〉との共催事業として取り組むとともに、市民により構成される「ふじみ野市平和推進事業実行委員会」を組織し、企画・運営に協力をいただいた。令和2年度は、「ふじみ野市平和祈念展」を実施した。長崎原爆資料館所蔵写真パネル及びふじみ野市戦争資料展示や、市内戦争体験者の語りの映像上映、市民から折り鶴を募集して千羽鶴を作成し、平和への願いを込めて広島と長崎に送付した。
実施に当たり、市民に企画・運営等に積極的に参加・協力していただいたことにより、市民の平和に対する意識の高揚が図られ、恒久平和の実現に向けた市民活動の推進力が高まった。 今後においても市民一人ひとりが持つ市民力を生かした事業実施に意を尽くすとともに、多くの市民参加を促すために創意工夫を行い、本事業の更なる充実化を図っていく。	

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	教育基本法等の理念やふじみ野市平和都市宣言に基づき引き続き取り組みが必要。時代とともに新たな人権問題が発生し、人権教育はますます重要となる。今後においても市民が積極的に参加できる研修会を開催し、啓発に努める。当該事業は地域に残る戦争遺跡や戦争体験を語り継ぐための取り組みに対応するため、公民館をはじめ、図書館、歴史民俗資料館等と連携を図り、人々が共にいきいきと暮らすことのできる地域社会の実現に向け、人権や国際理解、世界平和等に関する学習機会の充実を今後も図っていく。
中長期的方向性	
継続	